2020 年 4 月 24 日

次世代バイオディーゼル燃料の新規供給先の拡大と今後のバイオ燃料の製造・供給について

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充）は、次世代バイオディーゼル燃料『ユーグレナバイオディーゼル燃料』の供給先に、川崎鶴見臨港バス株式会社（以下「臨港バス」）が本日 4 月 24 日に新たに加わったことをお知らせします。

当社は 2018 年 10 月末、日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「バイオ燃料製造実証プラント」）の竣工を機に、「日本をバイオ燃料先進国にする」ことを目指す『GREEN OIL JAPAN（グリーンオイルジャパン）』を宣言し、2020 年に陸海空における移動体にバイオ燃料を導入することを目標として掲げてきました。

2020 年 3 月 31 日、当社はいすゞ自動車株式会社（以下「いすゞ」）と共に、次世代バイオディーゼル燃料の完成と、いすゞの藤沢工場シャトルバスへの燃料供給を発表しました。そして、本日 4 月 24 日に臨港バスが、『GREEN OIL JAPAN』宣言への賛同と、路線バスへの次世代バイオディーゼル燃料の導入について発表しました。現段階で、合計 2 社への燃料供給が完了し、今後の供給見込み先も 20 社以上に拡大しており、次世代バイオディーゼル燃料の供給は着実に進捗しています。またバイオジェット燃料製造に関しても、本年 1 月末に ASTM の新規格取得が完了※し、製造・供給に向けた準備および関係各所との協議を進めています。

※2020 年 1 月 国際規格 ASTM の新規格取得に関する当社ニュースリリース https:// euglena.jp/news/20200131-2/



いすゞのシャトルバス



臨港バスの路線バス

一方、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、収束の見通しも依然不透明な状況が続いており、バイオ燃料供給見込み先における導入スケジュールやバイオ燃料製造実証プラントの稼働スケジュールにも影響が及びつつあります。今後、当社が次世代バイオディーゼル燃料の供給拡大や有償フライト実現を目指していく方針に変更はありませんが、当面は、関係者の状況への配慮を優先し、製造・供給スケジュールに関しては期限を定めずに柔軟に対応していく予定です。

なお、当社は、新型コロナウイルス感染症への対策を実施しながらも、進行している気候変動に対する取り組みを極力遅らせることのないよう引き続き取り組んでいきます。

●『GREEN OIL JAPAN（グリーンオイルジャパン）』宣言について

2018 年 10 月のバイオ燃料製造実証プラントの竣工を機に、「日本をバイオ燃料先進国にする」ことを目指す『GREEN OIL JAPAN（グリーンオイルジャパン）』を宣言しました。当社のバイオ燃料製造実証プラントで製造したバイオ燃料を陸・海・空における移動体に導入すること、そして 2030 年までにバイオ燃料を製造・使用するサポーターを日本中に広げることで、バイオ燃料事業を産業として確立することを目標に掲げています。『GREEN OIL JAPAN』宣言には、本日 4 月 24 日に臨港バスが新たに加わり、現在は当社と 1 市 5 社 1 団体が賛同しています。目標実現を通じて、SDGs「GOAL7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「GOAL13：気候変動に具体的な対策を」に貢献します。

当社では、『GREEN OIL JAPAN』宣言に賛同し、バイオ燃料の利用、原料の供給やバイオ燃料の普及支援などをともに実施・普及する協力企業・団体等（輸送関連、飲食関連、地方自治体など）を募っています。 https://euglena.jp/greenoiljapan/

＜株式会社ユーグレナについて＞

2005 年に世界で初めて石垣島で微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。石垣島で生産した微細藻類ユーグレナ・クロレラなどを活用した機能性食品、化粧品等の開発・販売を行うほか、バイオ燃料の生産に向けた研究を行っています。2012 年 12 月東証マザーズに上場。2014 年 12 月に東証一部市場変更。経営理念は「人と地球を健康にする」。https://euglena.jp

以上